

おおさかプラスチック対策推進プラットフォーム 御中



well-blooming project in おおさか
大阪を中心に花業界のプラスチック循環チャレンジ

2024.12.23

国産花き需要拡大推進協議会

事務局：一般社団法人花の国日本協議会

◆花の国日本協議会・国産花き需要拡大推進協議会とは



花の国日本協議会
Flowering Japan Council

花き業界の有志により編成され、2010年に発足した「フラワーバレンタイン推進委員会」が、2014年10月に一般社団法人花の国日本協議会に発展。2011年にスタートした花贈りを啓発するプロモーション「フラワーバレンタイン」をはじめ、年間を通じ、花き業界および異業種との連携によって、花や緑が身近にある日本人のライフスタイルを実現させるプロモーションを実施。2015年秋より、ホームユースの消費拡大を推進する「WEEKEND FLOWER」企画を全国で本格展開。

現在は、農林水産省「令和5年度ジャパンフラワー強化プロジェクト推進」の全国事業の一環で「国産花き需要拡大推進協議会」の事務局を担いながら、ホームユース需要拡大・定着を目指す花初心者向け「#花のABCワークショップ」や、観葉植物を枯らさないノウハウを啓蒙する「GREENS RESCUE」、ウェディングの新しいスタイルを提案する「#花とフォト」を展開。さらに、ジェンダー平等を考える「国際女性デー」や「花業界の環境アクション」「花とウェルビーイング = #ビタミンF」など、SDGs課題にも積極的に取り組み中。

なお、2024年4月よりスタートした **well-blooming project** 活動は、花の国日本協議会が事務局をつとめる「国産花き需要拡大推進協議会」にて全国展開、農林水産省令和5年度「持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進」を活用して進めています。

名称： 一般社団法人 花の国日本協議会 Flowering Japan Council
理事長： 井上 英明（株式会社パーク・コーポレーション 代表取締役）
事務局： 東京都港区南麻布1-6-30 5F

花の国日本協議会公式サイト： <https://hananokuni.jp/>
国産花き需要拡大推進協議会公式サイト： <https://homeuse-hana.jp/>
【最新の活動】well-blooming project： <https://homeuse-hana.jp/wellblooming/>

フラワーバレンタイン公式サイト： <https://www.flower-valentine.com/>
国際女性デー公式サイト： <https://happywoman-flower.com/>
WEEKEND FLOWER公式サイト： <https://weekendflower.jp/>
花初心者向けサイト『はじめて花屋』： <https://hajimetehanaya.jp/>

◆well-blooming project（ウェルブローミングプロジェクト）とは

well-blooming project は、

今も未来も、自然も人も

ウェルビーイングでサステイナブルに咲きつづけることを目指して、
花業界の皆で取り組むプロジェクト名です。



well-blooming
project

昨今、世界中で時代のキーワードとされる「**Well-being**」

（ウェルビーイング＝心身が健康で社会的にも満たされた幸福な状態）と

「**blooming**」（ブローミング＝花が咲く、咲き誇る）を掛け合わせた言葉。

自然の恵みを享受している花業界だからこそ

環境問題にもまっすぐ向き合いながら、

持続可能、かつ人々の幸せに貢献する存在であり続けたい……！

と願いをこめて、命名されました。

自然も、人も、健やかに。



well-blooming
project

私たちは花業界の環境アクション
「ウェルブローミング プロジェクト」
に参加しています

- 2023年4月～ 本格準備スタート
- 2024年4月 ニュースリリース
- 2024年5月～ 参加エントリースタート
- 2024年6月～ 「環境月間」より各社にて
具体的な環境アクション開始
- 2024年10月 SDGs週間 (9/25～)
全国花店にてチャレンジキャンペーン



現在、全国の約380花店含む100企業・団体が参画中！

(うち、大阪本社の企業は7企業 ※今後増える予定)

◆おおさかプラスチックチーム対策推進プラットフォーム 事業体制 (今後声がけ予定)

- * 大阪の花店 (大阪の老舗花店、全国チェーンの大手花店他)
- * 大阪が本拠地の資材メーカー数社
- * 大阪・関西圏の花市場数社、および花市場の花店組合組織
- * リサイクル業者
- * 大阪大学 宇山浩教授

※貴プラットフォームメンバーのカムフル (株) / 関根氏
(環境カウンセラー)、ユニリーバ 繁田氏とも連携

◆well-blooming project まず最初に取り組む環境アクション＝使い捨てプラスチックの削減

現場で見聞きた、花業界でごみになっているプラスチック製品

市場・花店で ごみになる プラスチックの例



お客様の手元で ごみになる プラスチックの例



ごみの60%は「容器」と「包装」。花屋さんからお客さまに渡るラッピング資材は、「容器包装リサイクル法」の対象アイテムです！

国土の狭い日本において廃棄物の最終処分場が逼迫する中、容器や包装にまつわる「ごみ」を「資源」へと変えるために、「容器包装リサイクル法」という法律があります。消費者、自治体、事業者すべての人々が相互に協力・連携し、持続可能な社会を目指します。



01 環境のこと Sustainable

環境への対策についてそろそろ何かしなくちゃと思いつつ、何をどこから始めたらよい...? とモヤモヤしている花屋さんもきっと多いはず。環境対策は常にアップデートされていて理解が追いつかず、さらには環境＝コスト増な印象ですが、少しずつできることから取り組みれば大丈夫。well-blooming project からの提案として、まずはじめに取り組むたいのは「お客様の手元でごみになってしまうプラスチック」について。プラスチックは便利だし決して悪者ではないのだけれど、環境問題の観点に立つと、極力使用量を減らして、使い捨てではなくリユース・リサイクルしたい素材。ラッピング資材など身近なプラスチック製品を見直してみましょう。①～⑤をご参考に、できそうなことから始めてみて！

1 プラスチック製ラッピング資材・容器を減らそう・なくそう・見直そう

- ラッピングのセロハンをできる限り減らす。
- ホームユースには、紙や自然素材に対応する。
- アレンジや鉢物の花器やリボンのプラ製を減らし、自然由来のアイテムに切り替えていく。
- バイオマス素材や再生プラスチック素材のものを積極的に使用する。



2 プラスチック製の資材やラッピングペーパーなど紙類の分別や処分方法をお客様に伝えよう

自治体によってごみの分別方法が異なるのが悩ましいのですが...、いま一度、自店や商圏の自治体のホームページや問合せ窓口にごみの分別方法を確認してみるのもよいかも！捨て方がよくわからないとされる「フォーラルフォーム」のご家庭での分別や処分方法について、丁寧に説明するところから始めてみましょう！

実はお客さまも気づいていない？ 花屋さんのラッピング

昨年で実施している「花購入に関する消費意識調査」(2024年3月/全国20代～40代の男女1099名対象)において、フラワーギフトの「ラッピング」について今回初めて尋ねてみた。ラッピングがあるお祝いやプレゼント、実持たがよりいっそう倍増する、という肯定的意見が多数あるなか、「環境」を意識した回答も思った以上に、その声はプラスチックアップしてお届け。

- (ラッピング)のあるなし選べるという(女性 40～44歳)
- ごみにならないような工夫があればもっと良いかなという声も聞かれます。(男性 40～44歳)
- 再利用できるものが良いと思う。(女性 20～24歳)
- 受け取る側がゴミの処分には困らない、清潔な包装が良いと思う。(女性 35～39歳)
- 地球環境に配慮してリサイクルできる物が増えてくるともって気軽に利用できるようなものがあると思う。(男性 40～44歳)

まずはやってみよう！ 花屋さんの環境アクション

ひとつひとつの花束から変えていく well-blooming な未来へ

3 環境にやさしい選択や行動を してくださったお客さまに インセンティブを

- 「Myバック」をご持参くださったお客さまや、ギフトでも「セロハンなしOK」など簡易ラッピングを選んでくださったお客さまに、お店からエコポイントを付与する。
- エコポイントの他に、環境保全活動をしている団体へ寄付をするなど、お客さまにも環境アクションにご参加いただく。
- 自宅用の花購入時には「Myペーパー」を持参していただくのもよいかも！



4 環境に配慮して 生産されている花や 地元産の花を販売しよう

プラスチックの使用削減が日頃からできている花屋さんには、販売する「花」に注目して「環境に配慮して生産されている「MPS認証の花」や、輸送距離が短くCO2排出量の削減につながる地元産の花で「地産地消」を意識してみてください。

環境に配慮して生産している 「MPS認証の花」をご存知ですか？

「MPS」とは、人にも環境にも配慮した花き認証システムです。危険な農薬を使用せず、環境負荷の低減に取り組んでいることを、国際認証機関「MPS」より証明された生産者が作った花のことです。



Next Step

5 地域の花店・花市場と協力して プラスチック資材の回収や リサイクル活動に参加しよう！

ワンウェイのプラスチックが次々と禁止されていく状況下、これから少しずつ、地域の花市場を拠点に、リサイクルのためのダルマや鉢トレーなどプラスチック資材のリサイクルの実証回収実験が始まります。もし最近でそのような取り組みがあったらぜひ参加してみてください！皆で力をあわせて、資源を美しく循環させる花業界を目指しましょう。



◆大阪エリアで取り組み概要

- 花産業の国内二大マーケットである大阪（全国の13%）において、脱炭素の観点から地域資源循環のスキームを構築できないかを模索
- 花業界の様々な商流で使用中の、多岐にわたる使い捨てプラスチック資材（鉢トレー・保水バケツ・OPPフィルム・吸水性スポンジなど）を統合的に解決する道筋を探る。
- 異業種連携、および産官学で、リサイクルの先進技術の研究も兼ねて実証実験を行う。
(ex.大阪大学)
- 花関連の大手資材メーカー数社が大阪が本拠地の企業が多く、また、花店、花市場も多いことから、有機的な業界連携・チーム編成が可能。

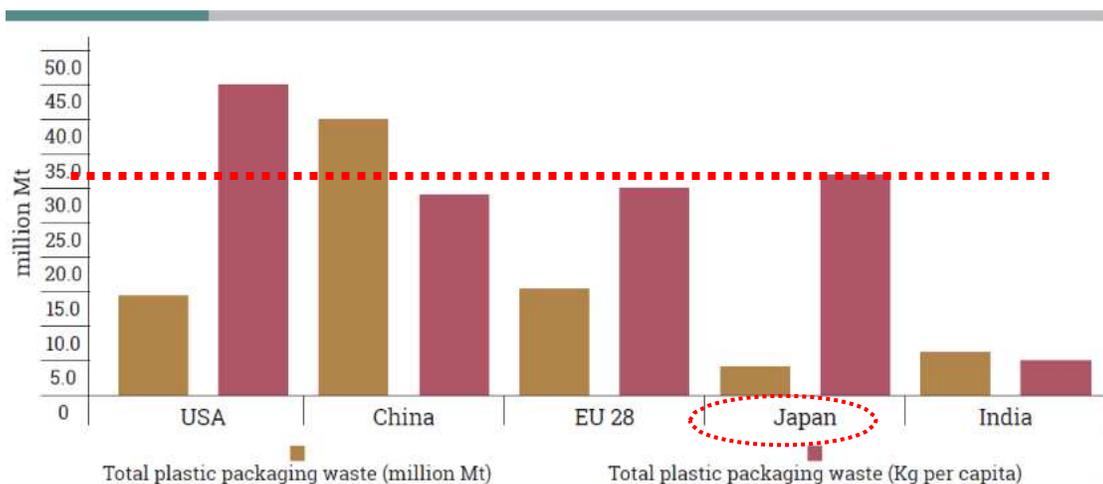
次世代の花業界の流通を見据えた「**環境配慮設計のガイドライン**」を協業でまとめていきたい。
排出量、廃棄量の調査やリサイクルの実験、代替素材の試験利用など
花店の現場を巻きこむことにより、購入者である大阪府民への環境意識醸成につながればよい。

【ご参照】プラスチックの大量生産は地球温暖化の加速要因となる 容器包装・使い捨てプラスチックへの対策が急務

- プラスチック廃棄物において**容器包装等**の占める割合は**49%**（プラスチック循環利用協会, 2024）
- **1人あたりの容器包装プラスチック排出量**は日本はアメリカに次いで**世界で2番目**に多い（UNEP, 2018）



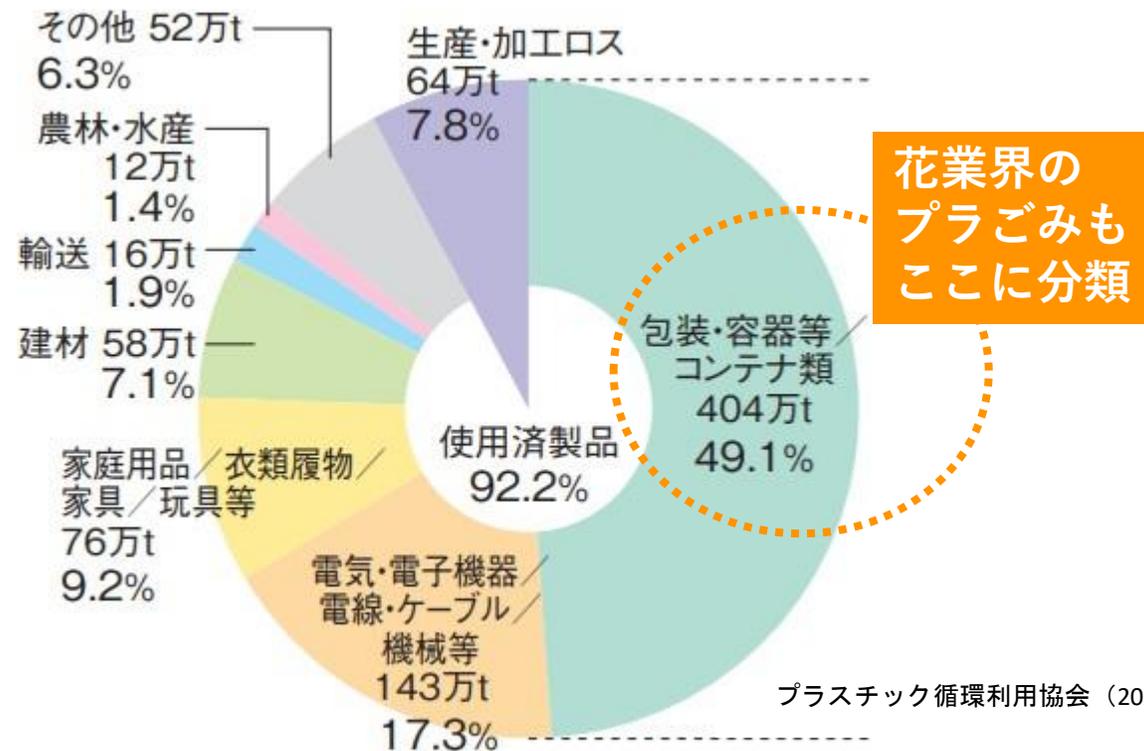
1人当たりの容器包装プラスチック廃棄物（2018年）



Source: Adapted from Geyer, Jambeck, and Law, 2017

UNEP (2018)

国内廃プラスチックの分野別内訳（2024年）



プラスチック循環利用協会（2024）

**【ご参照】 花業界の環境アクションwell-blooming project
活動の背景とR5年度の活動事例一部ご紹介**

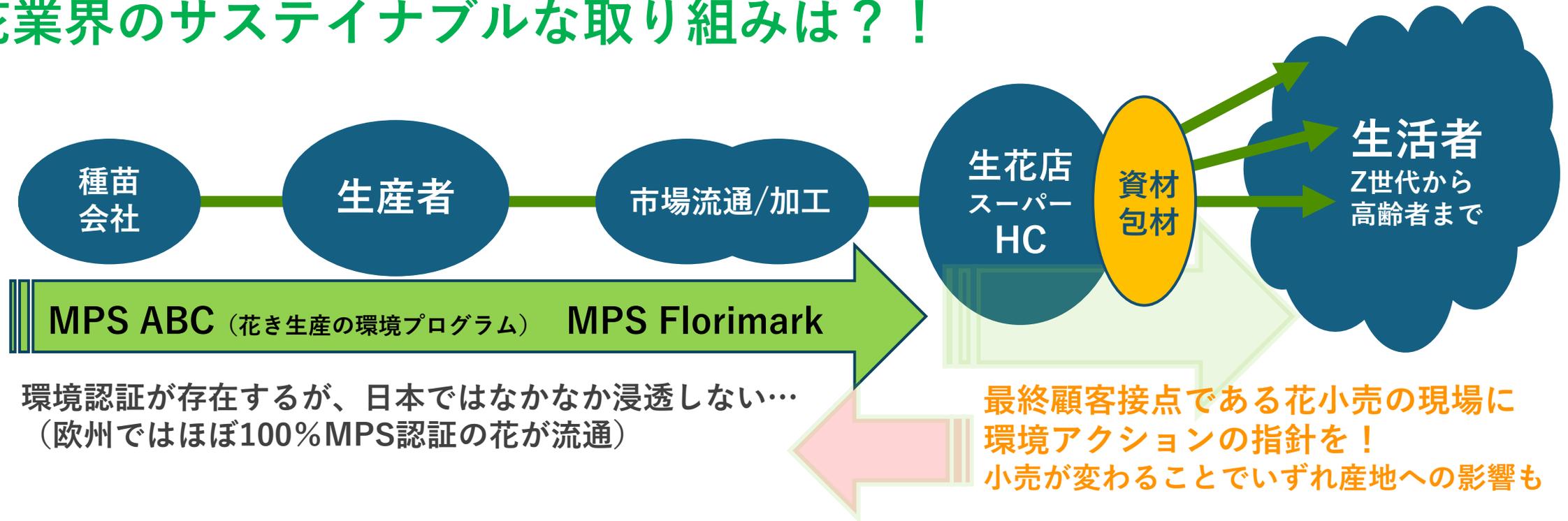
植物そのものが「ウェルビーイング」に貢献する素晴らしい存在

(Well-being：世界中の人々が心身および社会的にも健康で幸せな人間になる)

一方で「サステイナブル」な行動が伴わなければ支持されなくなる

(Sustainable：持続可能な) 遅れている花業界、もっと危機感を！／行動と協業で改善

花業界のサステイナブルな取り組みは？！





サステイナブル 環境と循環

第1フェーズ

共に学び
行動する！

花店の環境アクション チャレンジ5項目

減プラ・ごみ減量化を
浸透させつつ社会にアピール

- * 花店現場・資材メーカー卸連携
- * 花店店頭取り組み「見える化」
- * 花生産・流通との情報共有

第2フェーズ

地方で先行事例
例：大阪など

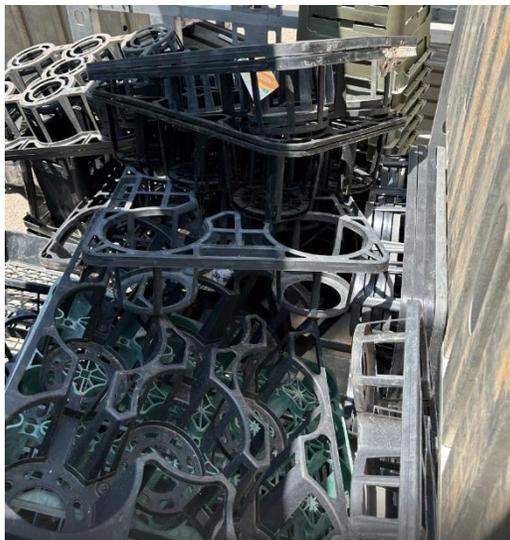
ごみの実態把握からスタート サーキュラーエコノミーへの挑戦

プラスチック類のリサイクル
植物残渣のバイオマス化など
異業種とコラボしつつ既に取り組みのある地域や
しくみにどのように花業界がジョインできるか検証

ウェルビーイング＝花とグリーンのチカラで！

#ビタミンF をキーワードにコアになるストーリーを

花業界における排出プラスチックごみの事例（花の流通段階）



市場・花店でゴミになるプラ

鉢物苗物トレイ、ポット類
保水バケツ（ダルマ）
PPバンド、産地由来スリーブ など



PS
ポリスチレン

23g
44g



再生
PS

71g
54g



PET

60g
48g



蓋なし
ウレタン

33g
7g
横長タイプ

PE
ポリエチレン



素材がバラバラで
リサイクルもできていない

花店からお客様の手に渡るプラ製品や、花店のごみの様子



消費者の手元でプラごみに

ラッピング資材
(OPPフィルム、不織布など)
リボン、ピック
吸水性スポンジ
プラ鉢、花器
アクリルケース など・・・



吸水性スポンジ



well-blooming
project

2024.10/1 tue - 10/10 thu



減らそう 使い捨て ラッピング

当店では、花をラッピングする際、
プラスチック製フィルムなどの削減に
積極的に取り組んでいます。

こうした「環境アクション」にご賛同くださるお客様はぜひ、
右の二次元コードより簡単なアンケートにお答えください。
抽選で10名様に嬉しいプレゼント♪※
※Amazonギフトカード(デジタルタイプ)2,000円分



ぜひ
ご協力
ください

国産花き需要拡大推進協議会 | 一般社団法人花の国日本協議会



このPOPは、環境に配慮した
生分解性泡体(PLA)を
使用しています。

全国花店でキャンペーン & お客様アンケート実施



【消費者アンケート】

実施期間：2024/10/1 (火) - 10/10 (木) の10日間

実施場所：全国約380店の花店店頭

実施方法：店頭にてお客様にお声がけいただき
POPのQRコードよりご回答いただく

総回答数：493名

* 回答者の割合は、首都圏4割、その他道府県が6割
首都圏のお客様の声だけではない点もポイント
環境意識は必ずしも 都市部 > 地方 ではない

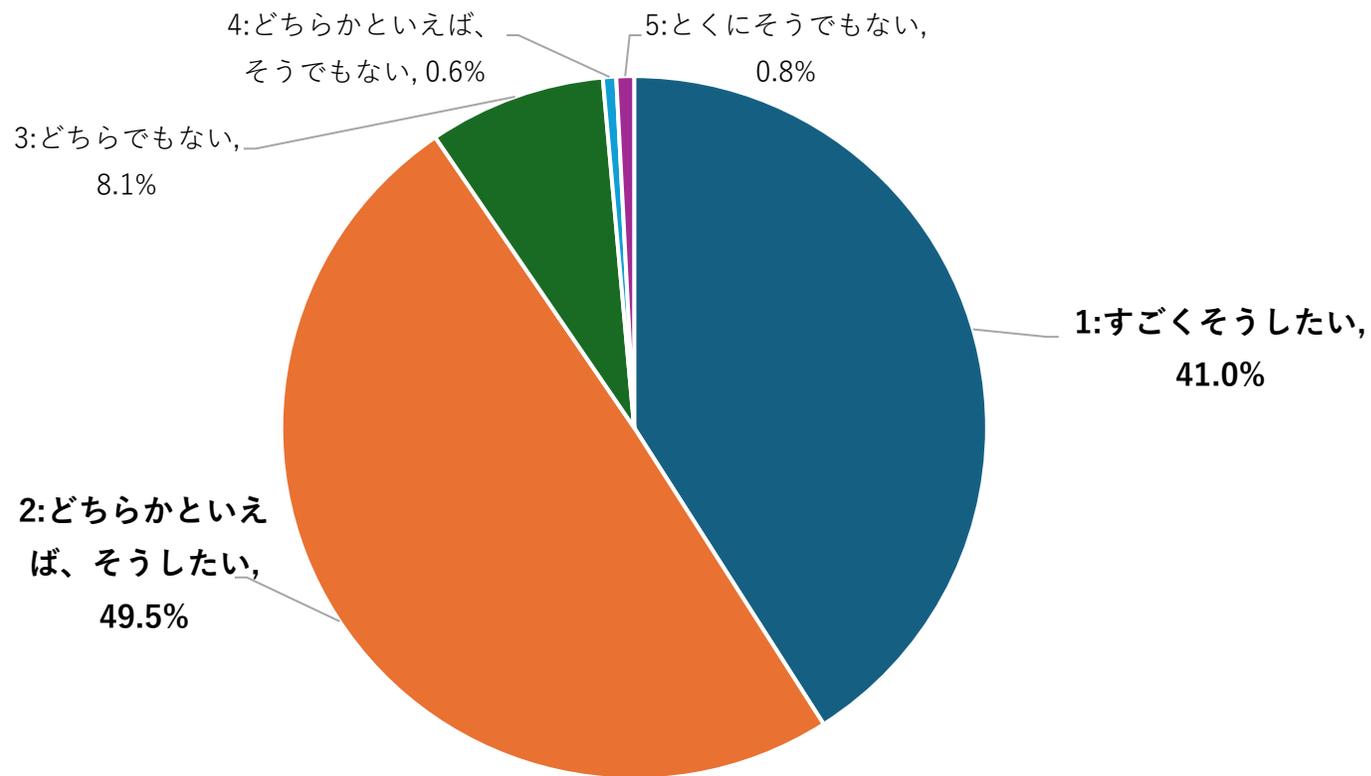
* 回答者の7割が月1回以上花を購入しているヘビーユーザー

* **フリーアンサーの設問への回答率が驚異の7割越え!**
花店の環境アクションに期待、応援する声が予想以上に多かった

Q. 今後、花を購入する際に、
環境への取り組みがある花屋さんを利用したいですか？

こうした「環境アクション」にご賛同くださるお客様はぜひ、
右の二次元コードより簡単なアンケートにお答えください。
抽選で10名様に嬉しいプレゼント♪*

回答	人数	割合
1:すごくそうしたい	202	41.0%
2:どちらかといえば、そうしたい	244	49.5%
3:どちらでもない	40	8.1%
4:どちらかといえば、そうでもない	3	0.6%
5:とくにそうでもない	4	0.8%



「すごくそうしたい」
「どちらかといえばそうしたい」
が、**全体の9割**

「花のある暮らし」が定着しているヘビーユーザーのお客様が
花店の環境アクションを支持くださっている、と捉えてよいのでは！

Q. このたびは花店の環境の取り組みにご賛同いただき、ありがとうございます！

今後について教えてください。花を購入する際に、環境への取り組みがある花屋さんを利用したいですか？

1. すごくそうしたい	環境に配慮したお店を利用することで、エコ意識を持つことができ、買い物が気持ち良く、お店に対して信頼感を抱く。過剰な包装やプラスチックを避け、ゴミ削減に貢献することが重要だと感じている。花を扱うお店には自然を大切にする姿勢が求められており、自宅用ではシンプルな包装を希望する人が多い。
1. すごくそうしたい	環境問題に対する関心が高まっており、身近な取り組みから始めたいと考える人が多い。SDGsやエコな行動を意識し、環境への配慮は社会貢献であるとの意識が強く、エコフレンドリーな企業を支持する傾向がある。特に、花は自然の一部であるため、環境に優しい取り組みが求められている。
2. どちらかといえばそうしたい	花を購入する際、必要な花を選ぶことが最も重要であり、特に自宅用の場合は過剰な包装を避け、環境への配慮を重視する人が多い。プレゼント用にはある程度の包装が求められるが、環境に優しい素材を使用した包装が好まれる。多くの人が、無駄を省きゴミを減らすことに協力したいと考えている。
2. どちらかといえばそうしたい	花屋を選ぶ際、花の品質やセンスが最優先されるが、環境への取り組みも選択の一因となる。環境問題に対する意識が高まり、店舗がエコな取り組みを行っている、と、購買意欲が高まる傾向がある。多くの人が、自宅用の花には簡素な包装を望む一方、贈り物には見栄えを重視し、環境配慮も考慮する。

これほどまでに「フリーアンサー」への回答記入が多いアンケートは非常に珍しい！

花も自然の一部 = 環境あっての花

→ 環境アクションにぜひ取り組んでほしい、という応援の声多数

Q. そのほか、当プロジェクトへのご希望やご意見等ございましたらお願いいたします！

定性コメントをAIが
3つの意見にまとめたもの

エコへの期待と協力: 多くの企業が環境に配慮した取り組みを実施することを望み、消費者としても協力したいという意見が多く見られました。特に、環境に優しいシールやエコバッグの導入に興味を持ち、参加したいと考える人が多いです。

ラッピングと包装の工夫: プレゼント用の豪華なラッピングと自宅用のシンプルな包装の使い分けが求められています。特に、使い捨てないラッピングやエコな素材を使用した包装が期待されています。

花屋の取り組みと改善点: 花屋さんの取り組みやサービスを評価しつつ、より気軽に購入できる環境や、廃棄される花の再利用など、さらなる改善や新しいアイデアが必要だという意見も多くありました。

自然環境に配慮した花店・企業への共感、信頼感
→ 選ばれる花店へ…！

第3回 花エコラッピング研究会共創ワークショップの開催(2024/11/6)

活動を共にする花店様と、資材メーカー卸様で勉強会&ディスカッションを重ねています

大阪の資材メーカー様も多数参加

